

Elazzio

SEAT COVER



TOYOTA
SIENTA

専用シートカバー取付説明書



SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

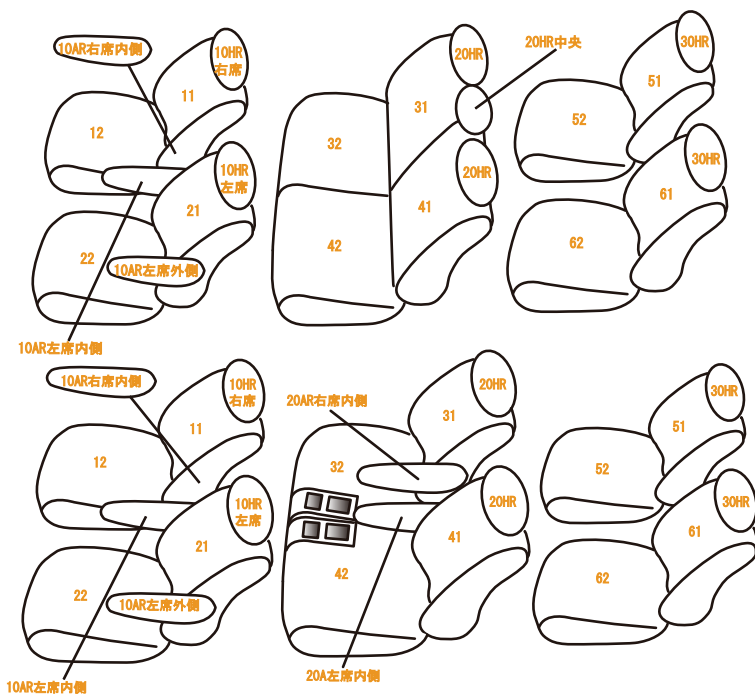
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…➤ 1P～2P
警告 サイドエアバッグについて	…➤ 3P～4P
1 列目運転席座面の装着方法	…➤ 5P～7P
1 列目運転席背もたれの装着方法	…➤ 8P～10P
1 列目助手席座面の装着方法	…➤ 11P～12P
1 列目助手席背もたれの装着方法	…➤ 13P～14P
2 列目座面の装着方法	…➤ 15P～17P
2 列目背もたれの装着方法	…➤ 18P～19P
3 列目座面の装着方法	…➤ 20P
3 列目背もたれの装着方法	…➤ 21P～22P
ヘッドレストの装着方法	…➤ 23P～25P
アームレストの装着方法	…➤ 26P～27P
完成図	…➤ 28P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…➤ 29P～30P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチセット (14mm)
- ② クラッツィオ 専用 ヘラ (付属)

この商品では上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。

事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。

- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつくなる場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
 - ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
 - シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
 - 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
 - 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
 - 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
 - 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。
- またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適 空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



- 1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



- 3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。
その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



- 2 シートを上から見た状態です。
通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



3P ▶

- 4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。
この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。
SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることになります。
位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

…> 1 列目運転席座面の装着方法

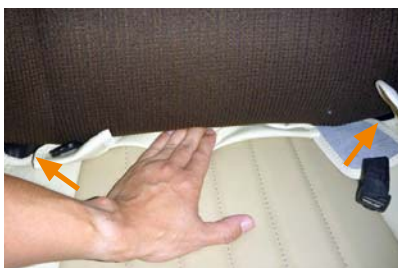
本説明書は、6人乗り・7人乗り、またシートヒーターやサイドエアバッグのオプション装着車などとも共通で説明を行っています。



- 1 始めにシート背面下からシート裏にゴムで固定されている生地を、図のように外します。



- 2 カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で行って下さい。図の矢印部分、シートの軸回りは隙間が大幅狭くなっています。シートを後ろへ倒した状態で生地を入れ込み、その状態から前にシートをリクライニングさせると生地が奥へ入っていきます。



- 4 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。図のようにカバーはシートヒーター装備車・サイドエアバッグ装備車にも対応できるようにカバーに切れ込みを入れてあります。該当する車両は配線部分をかわして生地を引き出して下さい。



- 5 シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 6 カバー両側面の生地を、シートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。



- 7 シートの付け根部分は隙間が狭くなっています。ヘラなどでリクライニングレバー側へ向けて入れ込むようにすると、生地が綺麗に収まります。



- 10 引き出したベルトを4番で引き出した生地についているバックルに通して固定します。



- 8 カバー前側についているベルトをスライドレバーの上を通して、シート背面へ入れ込みます。ベルトはシート裏の金属バーなどの上を通すようにして下さい。



- 11 ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。ベルトは強く引きすぎると、縫製糸が切れてベルトが抜けてしまいます。ご注意ください。



- 9 シートの背面から入れ込んだベルトを引き出します。



- 12 4番で引き出した生地についているゴムをシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。



- 13 6ページ12番のゴムを、シート裏の金属部分に図のように引っ掛けて固定します。



- 14 シート背面の生地は図のようになります。生地が図のようにたるみがあるようになりますが、背もたれカバーを装着すると、こちらの部分はカバーの中へ隠れます。
※10ページ16番参照



- 15 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。

Step6

…> 1 列目運転席背もたれの装着方法



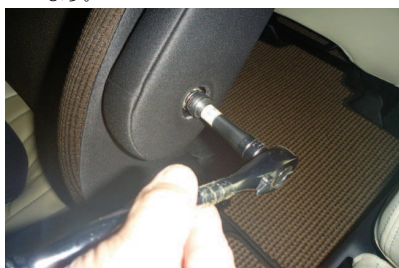
注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。

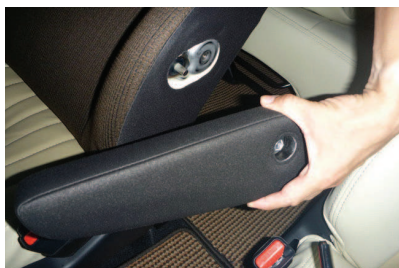
アームレスト装備車はアームレストを外してカバーの装着を行います。



- 1 アームレスト装備車はアームレストを外してカバーの装着を行います。
始めにヘラなどを使用して、アームレストの軸部分に付いている図のキャップを外します。



- 2 ソケットレンチなどを使用してボルトを外します。（ソケット 1 4mm）



- 3 ボルトを外すと、図のようにアームレストが外れます。



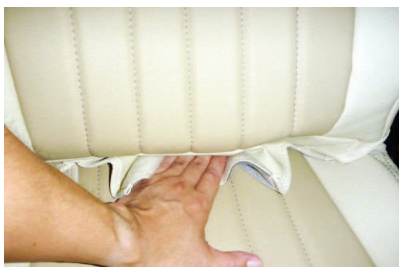
- 4 カバー側面のファスナーを開いた状態で、シートのラインに合わせてかぶせます。



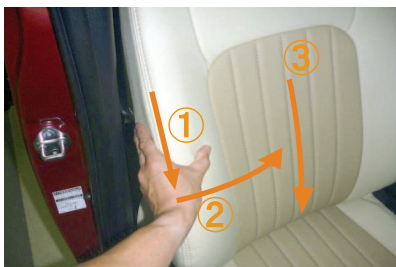
- 5 ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。まず台座の片側のフチに、生地をしっかりと入れ込みます。



- 6 生地の伸びを利用して、ヘッドレストの台座を取り出します。



- 7 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で行ってください。



- 10 カバー側面の生地を、図の①～③の順番でシートに密着させるようにして、シワをなくしていきます。側面の生地がしっかりと張るまで繰り返し行って下さい。



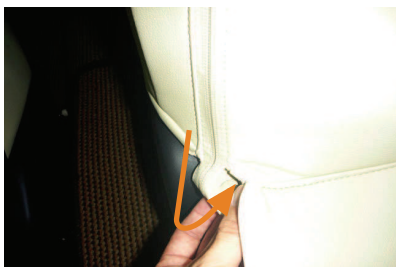
- 8 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。図のようにカバーはシートヒーター装備車・サイドエアバッグ装備車にも対応できるようにカバーに切れ込みを入れていいます。該当する車両は配線部分をかわして生地を引き出して下さい。



- 11 カバー側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。
ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 9 5ページ1番で外した生地をめくり上げてカバーの中へ入れ込みます。



- 12 ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 13** 8番で引き出した生地と、カバー背面下の生地をマジックテープで固定します。シートヒーターやサイドエアバッグ装備車は、配線部分に注意して作業を行ってください。



注意

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



- 14** カバー背面下に付いているゴムに付属の金属フックを取り付けます。



- 15** 金属フックはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。



- 16** カバー背面下は図のようになります。



- 17** サイドエアバッグ装備車は、サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。
カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。

Step 3

…> 1 列目助手席座面の装着方法



- 1 始めにシート背面下に固定されている図の生地をめくられるように外します。生地は先端がギザギザしているリベットピン4本で固定されているので内張りをはしなどを利用して引き抜きます。



- 2 リベットピンを全て外すと生地が図のようにめくり上がるようになります。



- 3 カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。シートの付け根部分はマジックテープが直接シート地に貼り付きま。生地の端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。

※入れ込んだ生地はシートの背面から引き出したりしないので、注意して下さい。



- 5 背もたれと座面の隙間は大変狭いため、生地がなかなか入り込まず、固定もしづらくなっています。ヘラなどを使用して生地をしっかりと入れ込み固定して下さい。



- 6 シートの内側面です。カバーの生地は2枚重なった状態になっています。下側の生地をめくり上げて、上側の生地の端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 7 6番でめくり上げていた生地を下して、側面にマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 10 カバー前側のシート裏に回る生地の端に付いているマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。



- 8 シート内側の付け根部分は、シートベルトバックルの内側を通してシートとプラスチックパーツの隙間に生地を入れ込みます。ヘラなどを使用して生地を入れ込んで下さい。



- 11 カバーのラインを整えて、1列目助手席背もたれの完成です。



- 9 シートの側面はシートとプラスチックパーツの隙間に、端に固定部材の付いた生地を入れ込み固定します。

Step 4

…> 1 列目助手席背もたれの装着方法



注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- 1 カバーを装着する前にアームレストを外します。アームレストの外し方は8ページの①～③を参照して下さい。
カバー側面のファスナーを開いて、シートのラインに合わせてかぶせます。



- 4 ヘッドレストの台座を取り出します。



- 2 シート肩口のチルトボタンの付いたグリップを加工穴から出して、シートとプラスチックパーツの隙間に生地を入れ込みます。



- 5 背もたれと座面の隙間にカバーの下に付いているマジックテープのベルトを入れ込みます。背もたれと座面の隙間は大変狭くなっています。そのため生地は一切入れ込まずに、マジックテープのベルト6本を隙間に入れ込みます。



- 3 グリップ部分は図のように収まります。



- 6 11ページ2番のように生地をめくり上げます。マジックテープのベルトをシートの背面から引き出します。



- 7 カバー側面の生地を、図の①～③の順番でシートに密着させるようにして、シワをなくしていきます。側面の生地がしっかりと張るまで繰り返し行って下さい。



- 8 6番で引き出したマジックテープのベルトをシートのプラスチック部分に巻き付けて固定します。両端のベルトは、純正シート地を端に寄せて、プラスチックパーツに巻き付けます。巻き付けたベルトを折り返してマジックテープで固定します。



- 9 内側のマジックテープベルト4本は、プラスチックパーツの四角い穴に通します。穴に通して折り返しマジックテープで固定します。この際図の中央の四角い穴にはベルトは通しません。



注意

サイドエアバッグが装備されているシートでは、8番・9番の固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



- 10 カバー両端のファスナーを、生地を打ちへ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 11 11ページ1番で外した生地の一つ目の折り目の端に、カバー背面下に付いているマジックテープを直接貼り付けて固定します。



- 12 サイドエアバッグ装備車は、サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバーのラインを整えて、1列目助手席背もたれの完成です。

Step 5

…> 2列目座面の装着方法

こちらでは主に6人乗りのシート画像を使用していますが、7人乗りの車両も一緒に確認下さい。



- 1 シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 4 6人乗りの車両は図のボックス部分のフチに生地を入れ込みます。先端の角の部分からしっかりと生地を入れ込み、シートに馴染ませながら全体へ入れ込んでいきます。



- 2 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 5 ある程度生地が入り込んだら、ヘラなどを使用してボックスのフチ周りの生地にシワなどが残らないように、生地を整えます。



- 3 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- 6 カバー外側面の生地に付いているマジックテープを、側面の生地を馴染ませながら、直接シート裏のシート地に貼り付けて固定します。



- 7 シート外側の付け根部分のフチに生地を入れ込み固定します。



- 8 カバーの前側についているベルトを、スライドレバーの上を通してシートの背面へ入れ込みます。



- 9 シートをタンブルさせた状態です。入れ込んだベルトを3番で引き出した生地についているバックルに通して固定します。図の矢印位置にマジックテープが付いています。全てシート地に直接貼り付けて固定します。



- 10 シート内側の付け根部分です。カバーの端の生地裏にフックが付いています。フックをシートのフチに引っ掛けて固定します。図の矢印側を先端に、フックと共に生地を折り返します。



- 11 フックの先端を入れ込んだ状態です。この状態からシートの方へ、フックを下から上へ引っ掛けるように固定します



- 12 フックを完全に固定した状態です。表側からはフックが見えない状態になります。フックをシートのフチにしっかりと固定できるように、矢印の方向へしっかり押し込んで下さい。



- 13** 12番で固定したフックを、図のようにシートのフチをスライドさせるようにして、プラスチックカバー側へ入れ込みます。14番の説明をよく確認して下さい。



- 16** シートベルトバックルのフチに生地を入れ込みます。バックルが取り出し辛い場合は図のようにシートベルトを固定し、その状態で生地を入れ込むと作業が行いやすくなります。



- 14** 2列目は助手席側との隙間がほとんどないため、シート可動時などに固定に使用したフック部で反対側のカバーに傷を付ける恐れがあります。それを防ぐためにも**13番**の作業が重要になります。摩擦でカバーがずれた際などにも手直しをお願いします。



- 17** カバーのラインを整えて、6人乗り2列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様にに取り付けます。



- 15** 6人乗りの内側面の図です。



- 18** 7人乗り2列目運転席側座面の完成です。ボックス部分以外は6人乗りと同様に取り付けます。助手席側も同様に取り付けます。

Step6

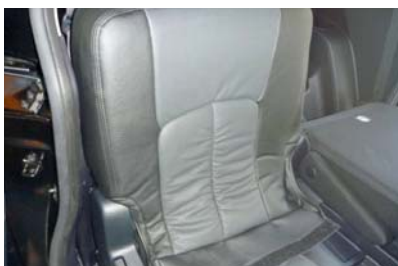
…> 2列目背もたれの装着方法



- 1 6人乗りの車はアームレストを外してカバーの装着を行います。
アームレストの外し方は8ページの1番から3番を参照して下さい。



- 4 7人乗りの助手席側は中央のヘッドレストの台座も同様に取り出します。



- 2 カバー内側面のファスナーを開いた状態でシートのラインに合わせてかぶせます。



- 5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 3 ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。



- 6 シートの側面下部分にもシートに沿わせて生地を入れ込みます。



- 7 5番で入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



- 10 7番で引き出した生地とカバー背面下の生地をマジックテープで固定します。



- 8 生地を引き出した後、シート表面の生地が図のように内に寄っている場合は6番の作業をやり直して下さい。



- 11 カバーのラインを整えて、6人乗り運転席側背もたれの完成です。



- 9 カバー内側の生地を内へ寄せながら、慎重にファスナーを閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 12 カバーのラインを整えて、7人乗り運転席側背もたれの完成です。

Step 7

…> 3列目座面の装着方法



- 1 シートのラインに合わせてカバーを前側から全体にかぶせます。



- 4 シートを跳ね上げた状態にします。カバー側面に付いているマジックテープのベルトを、シート裏の金属部分に巻き付けて折り返し固定します。



- 2 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 5 カバー前後のベルトを固定します。3番で引き出した生地の際に付いているマジックテープを、直接シート地に貼り付けて固定します。



- 3 入れ込んだ生地をシート背面から引き出して、図のシートの固定を解除するベルトをカバーの加工穴から取り出します。



- 6 カバーのラインを整えて、3列目運転席側座面の完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

Step 8

…> 3列目背もたれの装着方法



- 1 カバー外側面のファスナーを開いて、カバーをかぶせます。図のリクライニングレバーをカバーの加工穴に通します。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 2 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます



- 5 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



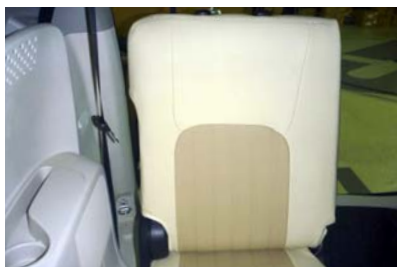
- 3 ヘッドレストの台座、リクライニングレバー一部をカバーの加工穴から取り出します。



- 6 カバー外側面の生地を内へ寄せながら、ファスナーを慎重に閉じます。



- 7 ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 10 カバーのラインを整えて、3列目運転席側背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。



- 8 5番で引き出した生地をシートを格納する際などに使用するベルトをかわして、カバー背面下とマジックテープで固定します。



- 9 5番で引き出した生地の内側にマジックテープが付いています。マジックテープを直接シート地に貼り付けて固定します。

Step 9

…> ヘッドレストの装着方法



- 1 1列目ヘッドレストです。**
カバーを図のように裏返してヘッドレストの先端までしっかりとかぶせます。カバーは板状のプラスチックが付いている方が前です。



- 2** ヘッドレストのラインに合わせて、左右均等にカバーを引き下げてヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 3** ヘッドレストをシートから外して、ヘッドレスト裏でブラフックを固定します。



- 4** ブラフックの固定方法は、カギ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



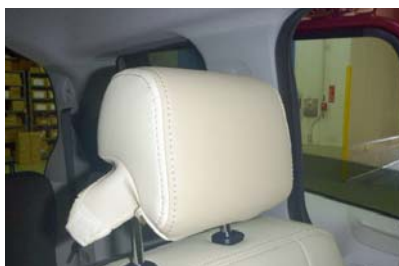
- 5** ヘッドレスト裏は図のようになります。



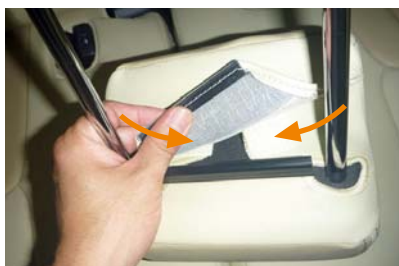
- 6** ヘッドレストをシートに戻します。カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



- 7 2列目ヘッドレストです。**
ヘッドレストの先端からカバーを下から上へ持ち上げるようにしてかぶせます。先端部分の生地がしっかり張るようにかぶせて全体にかぶせていくようにして下さい。



- 8** ヘッドレストのラインに合わせて、カバーを全体にかぶせます。



- 9** ヘッドレストをシートから外してヘッドレスト裏の生地を内へ寄せながらマジックテープで固定します。



- 10** 1列目ヘッドレスト同様にブラフックを固定します。ヘッドレスト裏は図のようになります。



- 11 7人乗り、2列目中央ヘッドレストです。**
ヘッドレストの側面からカバーをかぶせます。片側のフチにカバーを引っ掛けるようにかぶせて、そこを基点にヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 12** ヘッドレストのラインに合わせて、カバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 7** 2列目中央ヘッドレストは、ヘッドレスト裏でカバーの両端に付いているマジックテープ同士を、生地を内へ寄せ合い固定します。
※図は別車種のものを使用しています。



- 8** 2列目中央ヘッドレストはフック側が2箇所に分かれています。2箇所ともフックを引っ掛けて固定します。



- 9** カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。



- 10** **3列目ヘッドレストです。**
ヘッドレストの先端からカバーを下から上へ持ち上げるようにしてかぶせます。先端部分の生地がしっかり張るようにかぶせて全体にかぶせていくようにして下さい。



- 11** 2列目ヘッドレスト同様に、ヘッドレスト裏でマジックテープとブラフックで固定します。



- 12** カバーのラインを整えて、3列目ヘッドレストの完成です。

Step 10

…> アームレストの装着方法



- 1 1列目運転席のアームレスト装備車は、背もたれカバーに穴開け加工が必要です。背もたれカバーが正常に装着できていることを確認します。カバーに穴明け加工した後は、カバーをずらしたりすることができなくなるのでご注意ください。



- 2 生地表面からアームレストの軸部分を触り、丸く突起した部分と、ボルトを固定していた穴の部分を確認します。確認ができたらその位置にペンなどで印付けます。



- 3 2番で印を付けた部分をつなぐように、カッターやハサミを使い図のように生地を切り取ります。この際シートを傷付けたりしないようにご注意ください。



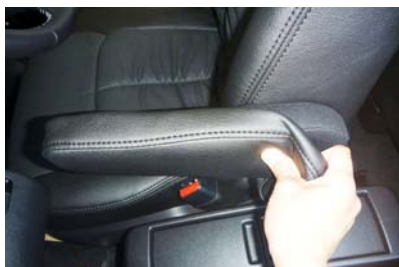
- 4 3番で開けた穴から内側を見て、シート表皮の穴と同様の大きさまで生地を切り取ります。3番の穴の状態ではアームレストの可動時に強い生地同士の摩擦が生じます。必ず行って下さい。



- 5 図のように生地を切り取ります。いきなり大きく開けようとせず、最小は少し小さめに穴を開けて、徐々に広げるようにすると切り過ぎることがなくなります。



- 6 アームレストを元に戻します。キャップの付け忘れにご注意下さい。



- 7** アームレストをシートに戻した状態でカバーの装着を行います。
アームレスト先端までしっかりとカバーを入れ込み、アームレストのラインに合わせて全体にカバーをかぶせます。



- 8** アームレストの軸部分に生地を引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 9** アームレストを立てて反対側の軸部分にも生地をしっかりと入れ込みます。

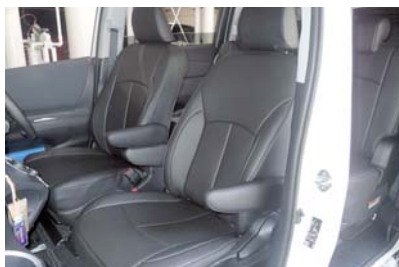


- 10** カバーのラインを整えて、1列目アームレストの完成です。
助手席も形状は異なりますが、同様に取り付けます。



- 11** 6人乗り・2列目アームレストも形状は異なりますが、同様に取り付けます。

完成図



1列目



助手席回転状態



7人乗り・2列目



助手席回転チルト状態



6人乗り・2列目



3列目を2列目下に格納した状態

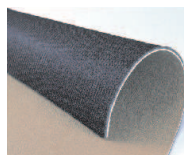


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。
長時間放置しておくとうれやシミが取れなくなります。
表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となる為しっかりと乾燥させてください。

※デニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL. 072-330-8000 FAX. 072-330-8816